

イツキムラ

五木村

総人口…847人 男…420人 女…427人 世帯数…395世帯

〈人口構成比〉 15歳未満…7.4% 15～64歳…43.2% 65歳以上…49.4%

※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



木下 丈二 村長

第2期となる「五木村まち・ひと・しごと創生総合戦略2020」については、「新しい生活様式」や「デジタル化の推進」など社会の変化を捉えながら、本村がこれまで実施してきた地方創生の施策の「継続を力」に、各関係機関と連携し、SDGsやSociety5.0などの新たな視点や技術の進展にも目を向けながら、本村の強みを最大限に活かし、「ひかり輝く五木村」の実現をめざしていきます。



寄附御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額500万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄附額100万円以上) ・地公体広報誌掲載 ・HP掲載(寄付額500万円以上)
- ・視察受入 ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦 ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー1 産業振興・企業誘致

森林整備の推進等による雇用拡大と人材育成

森林面積は村全体の94%を占め、林業は現在も主要な産業のひとつとなっています。豊かな山林を次世代に残していくためには、林業に従事する人を増やしていくことが必要です。そのため課題として①林業の担い手が不足している②林業従事者の暮らしや林業の魅力が十分に発信・周知できておらず林業にかかわる人が少ない③季節や天候によって収入に差が出るため安定した収入の確保、が挙げられます。



モデル林モニターツアー



カテゴリー6 観光客の誘致・地域PR

観光・交流事業の主役となる人材の育成や体制の強化

滞在型観光を推進していくために、環境の整備や、アクティビティを継続していくための体制の支援、観光ガイドの育成などを行っていく必要があります。そのため課題として①アクティビティの継続や、観光ガイドのための人材育成と確保②カヤックやSUP、バンジージャンプなど既存の観光資源の磨き上げや新たなアクティビティの導入③滞在型観光を推進するための広域的な連携、が挙げられます。



カヤック体験

五木村まち・ひと・しごと創生総合戦略2020

「ひかり輝く五木村」をめざして

基本目標

1

五木村の発展を支える産業と、魅力ある雇用を創出する

人口減少に歯止めをかけるには、若い世代の転出超過を解消する必要があります。そのため、本村の発展を支える産業と魅力ある雇用の創出をめざします。

基本目標

2

五木村への人の流れを創り、人材の流出を抑制する

本村への移住定住を促進します。また、地域を維持・発展させていく地域づくりを進めるため、若者の地元定着等の促進を図ります。さらに、本村への国内外からの交流人口拡大を図ります。

基本目標

3

結婚・出産・子育ての希望を実現する

若い世代が安心して結婚・妊娠・出産・育児をしやすい社会を創り、村民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現をめざします。

基本目標

4

誇りを持ち安心して暮らし続けられる地域を創る

家族や地域の絆の中で人々が心豊かに生活できる地域コミュニティを維持するため、地域課題の解決と活性化に取り組みます。

重点プロジェクト

森林によるむらづくり

〈SDGs〉関連するゴール

8 働きがいも経済成長も

9 産業と生活革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

15 陸の豊かさも守ろう

|      |                                                                              |
|------|------------------------------------------------------------------------------|
| 総事業費 | — 寄附目標額 —                                                                    |
| 数値目標 | ●五木村の木材(素材)生産量 58,447㎡(R4)… 62,643㎡(R8)<br>●五木村の林業従事者数 87人(R4) …………… 96人(R8) |

五木村の林野率は94%で、林業は村の基幹産業ですが、人口減少や高齢化に伴い担い手不足が顕著となっています。そこで、豊富な森林資源をフル活用し、森林資源の高付加価値化、林業担い手の確保・育成や所得向上などの林業施策を核とした取組みを推進し、持続可能な産業と雇用の場の創出を図ります。



遊歩道が整備された森林

寄附の具体的なメリット

●100万円～五木産材を使用した木製感謝状の贈呈  
●500万円～感謝状贈呈式を開催(地元報道機関へのプレスリリースを実施)  
※寄付企業様とのご縁を大切に参ります。

重点プロジェクト

観光によるむらづくり

〈SDGs〉関連するゴール

8 働きがいも経済成長も

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 総事業費 | — 寄附目標額 —                             |
| 数値目標 | ●観光客入込客数 136,000人(R4) …… 147,000人(R5) |

近年、新型コロナの感染拡大や令和2年7月豪雨の影響等により観光客数が減少しています。今後、着地型観光やマイクロツーリズム、インバウンド観光の進展に対応するため、観光客の受入体制づくりのほか、バンジージャンプやカヤックなどの既存のアクティビティや観光資源の磨き上げを行います。また新たなアクティビティ導入の検討を進めます。さらに他市町村との連携、SNSやホームページを活用した情報発信などを強化し、村外からの認知度を向上させ、観光客を始めとする関係人口の増加や移住者、村を支える人の増加を図ります。



高さ66m(西日本一)のバンジージャンプ

寄附の具体的なメリット

●100万円～五木産材を使用した木製感謝状の贈呈  
●500万円～感謝状贈呈式を開催(地元報道機関へのプレスリリースを実施)  
※寄付企業様とのご縁を大切に参ります。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。